

Table with columns: 事務事業名, 政策名, 施策名, 基本事業名, 法令根拠, 予算科目, 担当, 電話番号, 教育委員会 文化課 文化財係, 実施計画上の主要事業, 事業期間, 単年度のみ, 単年度繰返 (開始年度 昭和61 年度~), 期間限定複数年度 (年度~ 年度), 事業概要

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

Table with columns: ①手段 (主な活動), ⑤活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) の推移, 27年度実績, 28年度計画, 名称, 単位, 24年度(実績), 25年度(実績), 26年度(実績), 27年度(実績), 28年度(見込)

Table with columns: ②対象 (誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等, ⑥対象指標 (対象の大きさを表す指標) の推移, 市民, 名称, 単位, 24年度(実績), 25年度(実績), 26年度(実績), 27年度(実績), 28年度(見込)

Table with columns: ③意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか), ⑦成果指標 (対象における意図された対象の程度) の推移, 郷土の歴史や文化への理解を深める, 名称, 単位, 24年度(実績), 25年度(実績), 26年度(実績), 27年度(実績), 28年度(見込)

Table with columns: ④結果 (どんな結果(上位施策)に結びつけるのか), ⑧上位成果指標 (結果の達成度を表す指標) の推移, 郷土の歴史や文化への理解を深め、市民文化の向上に資する, 名称, 単位, 24年度(実績), 25年度(実績), 26年度(実績), 27年度(実績), 28年度(見込)

Table with columns: (2) 総事業費の推移, 単位, 24年度(実績), 25年度(実績), 26年度(実績), 27年度(実績), 28年度(見込), 投入量, 事業費, 財源内訳, 国庫支出金, 県支出金, 地方債, その他, 一般財源, 事業費計(A), 人件費, 正規職員従事人数, 延べ業務時間, 人件費計(B), トータルコスト(A)+(B)

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

Table with columns: ①この事務事業を開始したきっかけは何か? いっごろどんな経緯で開始されたのか?, 真岡市内の文化財をめぐり、歴史や文化を学び、郷土愛を育むため、昭和61年度から始めた。その後、市外(県外)の文化財をめぐることがようになった。

Table with columns: ②事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?, 市有バスを利用し、平成5年度からは、年3回、平成14年度からは年2回実施している。市内の文化財めぐりの際は、参加者が少ない傾向である。

Table with columns: ③この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?, 市外の文化財や展示施設、企画展等を訪れたいとの要望がある。

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 郷土の歴史や文化を理解し郷土愛を育むことができる。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 郷土の歴史や文化に対する理解を深めることは文化財の保護継承に有効である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 市民を対象として郷土の歴史や文化への理解啓発は市の施策に合致しており適切である。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 毎回参加者からアンケートを行いニーズにあった事業を実施している。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 歴史や文化を学習する機会が減少し、市民文化の向上に資することに支障が生じる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない 他に類似の事業はない。
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 文化財めぐり開催に要する最小限の経費である。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか？ (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 文化財めぐり開催に要する最小限の業務である。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ウィークリーニュースやホームページを通じた募集告知で市民すべてに参加機会はある。また入館料等は参加者負担である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							